

臨床研究に関する情報公開（一般向け）

「視神経の後方牽引が眼球形状に及ぼす影響に関する研究

～後頭部打撲で出血性網膜ひだを生じ得るか？～ へご協力をお願い

—西暦 2021 年 10 月 8 日から西暦 2023 年 3 月 31 日の間に本学で法医解剖を受けられた方のご家族様

研究機関名：三重大学大学院医学系研究科

研究責任者：基礎医学系講座 法医法科学分野 准教授 大島 徹

個人情報管理者：倉田 智美

1. 研究の概要

1) 研究の意義：揺さぶられっ子症候群などに観察される出血性網膜ひだ、現在は網膜が前方に牽引されることで生じると考えられています。しかし、この損傷は転落による後頭部打撲などの眼球が後方に牽引されることで生じる可能性があり、その真偽を明らかにするものです。

2) 研究の目的：視神経の後方牽引によって眼球の形状が変化するかどうか、エコーを用いて非侵襲的に計測し、出血性網膜ひだの発生機序を再考することにあります。

2. 研究の方法

1) 研究対象者：西暦 2021 年 10 月 8 日から西暦 2023 年 3 月 31 日の間に本学で法医解剖を受けられた方

2) 当院における目標症例数：150 例

3) 研究期間：2021 年 10 月 8 日より 2024 年 3 月 31 日まで

4) 研究方法：法医解剖開始前と解剖時にエコーで眼軸長を計測し、その値の変化を記録します。計測によって得られた眼軸長・前房深度の変化と年齢、性別、眼内状況との比較検討を行います。本研究のための切開や試料採取は行いません。

5) 使用する試料の項目：本研究のための試料採取は行いません。

6) 使用する情報の項目：

- 年齢、性別、死後経過時間、死因

- 眼エコー（眼内病変の有無，後部硝子体剥離の有無）
- 眼底所見，眼軸長（角膜から網膜までの直線距離），前房深度（角膜から水晶体までの直線距離），水晶体の状態（眼内レンズ挿入の有無）

7) 情報の保存：

研究対象者の個人情報の取り扱いについては、対応表を作成し、電子情報として保存します。この研究で得られたデータは、適切に保管し、研究発表5年後に匿名化したまま廃棄します。

8) 情報の保護：

研究に関わる関係者は、研究対象者の個人情報保護について、適用される法令、条例を遵守します。また、関係者は、研究対象者の個人情報およびプライバシー保護に最大限の努力を払い、本研究を行う上で知り得た個人情報を漏らすことはありません。

9) 研究資金源及び利益相反に関する事項：

本研究では日本学術振興会 科学研究費を使用します。本研究の結果および結果の解釈に影響を及ぼすような利益相反はありません。また、本研究を行うことによって研究に参加いただいた方々の権利・利益を損ねることはありません。

10) 研究計画書および個人情報の開示：

あなたのご希望があれば、個人情報の保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、この研究計画の資料等を閲覧または入手することができますので、お申し出ください。また、この研究における個人情報の開示は、あなたが希望される場合にのみ行います。あなたの同意により、ご家族等（父母、配偶者、成人の子又は兄弟姉妹等、後見人、保佐人）を交えてお知らせすることもできます。内容についてお分かりになりにくい点がありましたら、遠慮なく担当者にお尋ねください。この研究はあなたのデータを個人情報とわからない形にして、学会や論文で発表しますので、ご了解ください。この研究にご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。また、あなたの試料・情報が 研究に使用されることについてご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者の皆様に不利益が生じることはありません。あなたが研究を拒否された場合、これまで取得したデータは全て削除します。ただし、解析中もしくは論文執筆中のデータ、また、既に学会や論文で発表されたデータについては、削除できないことがありますことをご了承ください。拒否される場合は、お早めにご連絡をお願い致します。

<問い合わせ・連絡先>

担当者：大島 徹

電話：059-231-5014（平日：9時 30 分～17 時 00 分） ファックス：059-231-5690